

2007年3月1日発行第528号増刊
昭和45年7月26日第3種郵便物認可
盆栽世界3月号増刊

陶遊



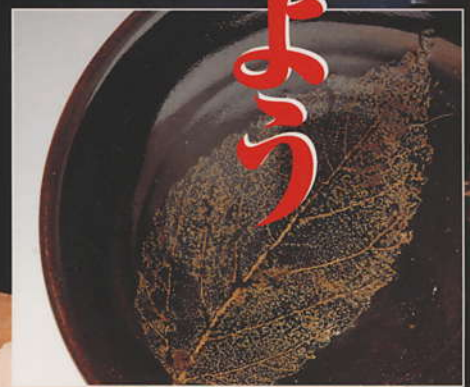
87 2007 March

あなたもできる陶芸誌

「特集」 わたしの習いたい先生・教室に出会える 今すぐ陶芸をはじめよう

憧れの陶芸家に習う
本気で学びたい人へのオススメ陶芸塾
1日密着！
体験教室で木葉天目を焼く

春がはじまる今こそ陶芸が100Vの電気窯
多肉植物を引き立てる鉢づくり



穴窯焼成が
できる
陶芸教室

しら つぎ 白次陶芸教室

(千葉県白井市)

行動力と創作力にあふれた
人間ふれあいの陶芸教室



教室内で思い思いに作品制作に励む生徒さんたち

白次陶芸教室を主宰する白次丈治郎さんは、若いころ画家を目指していたという。しかし、たまたま遊びに行った益子で陶芸の面白さにはまり、その後、独力で10年間修行を重ねた。その後、陶芸の面白さをより多くの人に楽しんでもらいたいと、千葉県の松戸と白井に陶芸教室を始めた。

今回は、その白井教室に通う菅原進さんに、白次教室をレポートしていただきました。



虚空窯（自作の穴窯）焼成作品の待望の窯出しの様子

酒を飲みかわし、語り合う 楽しい仲間たちと陶芸談義の日々

好奇心と興味のかたまり

この陶芸教室の特徴は、先生（白次さん）をはじめとし、何でもやってみようという陶芸好きの集団だ。皆でいっしょに造った穴窯

や、土をふんだんに使えること、費用が安いことなども特筆すべき

かもしれない（どれだけの作品を作ろうとも、月謝以外にお金は必要ない。といってもあまりの大作

は別だが……）。

陶芸を始めた先生が、通常の陶芸教室に多くの制約があることを知って、もっと自由気ままに陶芸を楽しめるようにと考え出した案である。

ゆかいな仲間たち

カリキュラムは「基礎コース（手びねり）」と「ロクロコース」

があるが、途中で自分の感性にしたがって寄り道をしたり、どこかに行ってしまうても、何も言わないのが先生なのだ。

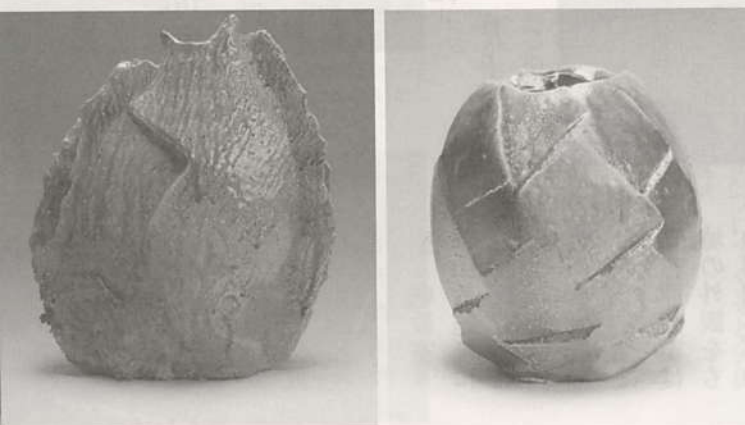
生徒も多士済々。プロ級の腕前の人からそここの腕前の人、まじめ一方の人から教室で軟派して奥さんを見つけた人、手より口のほうがよく動く人など、さまざま。遠くから教室に通ってくる方も多く、土浦、柏、我孫子、栄、市川など、近隣から1時間以上かけてくる人もいます。

生徒数は両教室を併せて約70人。女性が6〜7割とやや多いが、男性もがんばっている。先生と図面なしで穴窯を作り上げた猛者たちは、御窯は好きだけど「おかま」はいやだということ。「酒と女と陶芸を愛する会」（会長／松本幸四郎氏）を結成し、親睦を深めている。一方、それに対抗して女性陣も「酒と男と陶芸を愛する会」（会長／妹尾道子氏）を結成、皆で機会を作っては酒と陶芸を楽しんでいる。

年に1〜2回行われる穴窯焼成は当教室の大イベントだが、それ以外にも、野焼きや楽焼、市のイベントである展示即売会への出品など、地域密着型の活動を続けている。これらの活動は、企画から



自作の器と料理を持ち寄った楽しい宴会も企画される



上2つ/虚空窯で焼成した作品例

実行まで、すべて「酒と女、男と陶芸を愛する会」が中心となって行っている。
土に向かつて

作風は各人でかなり異なるが、作品を見れば誰のものかすぐ分かるという人が多数いる。もっぱら大型のオブジェを作る人、表情豊かな人形を作る人、刷毛目を得意とする人、絵付け非凡なものを発揮する人、造詣が独特である人、いろいろな釉薬に挑戦する人、釉薬を自分で調合する人など、その作品を見ても参考になる。陶芸雑誌に何か変わった作成方法が載れば、誰かが挑戦している。

単に作品を作るというだけではなく、作品を用いた料理、お茶会、お花なども楽しみ、日本古来の伝統である総合芸術を身に着けようという試みもしている。もつとも、最後のほうは、いつも酒を片手に芸術論議や人生論議になってしまいうが、それでもさまざまな人生経験のある人が集まっているので、酒を飲んでの団欒は素晴らしい。けつして単なる飲んだくれではなく、後で飲んでよかったなと思える仲間たちなのだ。

陶芸教室の一大イベント 虚空窯（穴窯）焼成

穴窯は一度焼成すると病みつき

になる。ガス窯や電気窯にはない風合いが味わえるということ、まったくの初心者でも、先生を超える作品になる可能性を秘めている。しかしその一方で薪割りの準備など、たいへんな作業もあり、何度も焼くことはできない。この穴窯では4年前、薪のかわりにPETフィルムを用いて強還元焼成をし、見事成功した。もちろん、けつして順風満帆ではなかったが、失敗あれば改良し、穴窯焼成技術は確実に向上している。

人生はつまるところ人。土、陶芸というものを通じ、多くの人間が知り合い、切磋琢磨してよい経

験をするというすばらしい場、それがこの白次陶芸教室だ。

窯出し時、出てきた多くの作品を見て、炎の前では器の形や絵付に、上手下手はないということを実感する。これとおなじように、各人の人生、生き方に上手下手はない、自分で勝手に上手下手をつけているということを、この陶芸教室の仲間たちと話していると実感できる。白井教室にはギャラリーが隣接し、白次さんの作品を見ることが出来る。さあ、一緒に陶芸をはじめようではありませんか。散歩のついでに、ぜひ立ち寄ってみてください。
(文・菅原進)

教室案内

住所	白井教室 千葉県白井市根1793-23
TEL	047-491-3227
	松戸教室 千葉県松戸市根元334
TEL	047-369-0321
URL	http://homepage2.nifty.com/kokuuyyo/
開講時間	白井教室 木 金 土 午前9:00~12:00 午後1:30~4:30 6:00~9:00 (木・土のみ)
	松戸教室 月 火 水 金 土 午前10:00~13:00 午後1:30~4:30 6:00~9:00 (水のみ)
月謝	基礎コース 8,000円 それ以後 10,500円
材料費	受講料を含む
焼成費	受講料を含む ※大物については相談
粘土	約10種類 ※信楽(並、赤) 古信楽(粗、細) 唐津(白、赤) 萩、備前、ブレンドなど
釉薬	両教室42種 下絵具 両教室50種 上絵の具両教室5種
電動轆轤	白井教室6台 松戸教室4台
手回しろくろ	白井教室2台 松戸教室10台
電気窯	白井教室4台 松戸教室2台
穴窯	白井教室1基